

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 5 号

第 5 週 (1 月 30 日 ~ 2 月 5 日)

発行年月日:平成24年(2012年) 2月 9日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ インフルエンザは増加傾向(警報は発令中)

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第5週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 5名**(平成23年第52週分 1名を含む)
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**風しん 1名**(病型:検査診断例、ワクチン接種歴:不明)

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(2,338名)よりさらに増加し、今週は2,461名となっています。特に、インフルエンザで先週よりさらに増加しています。インフルエンザの発生状況は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。今週、増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、水痘等で、減少した疾患は、感染性胃腸炎、手足口病等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者15名の届出がありました。保健所管内別では、草津 3名、甲賀 3名、東近江 2名、彦根 1名、長浜 2名および高島 4名です。年齢別では、0～11ヶ月 2名、1～4歳 5名、5～9歳 2名、30～39歳 1名および60歳以上5名です。60歳以上の内訳は、70歳、76歳、78歳、90歳、92歳がそれぞれ1名です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報---インフルエンザ

A群溶レン菌咽頭炎

手足口病

(警報開始基準値 30.00、警報終息基準値 10.00)

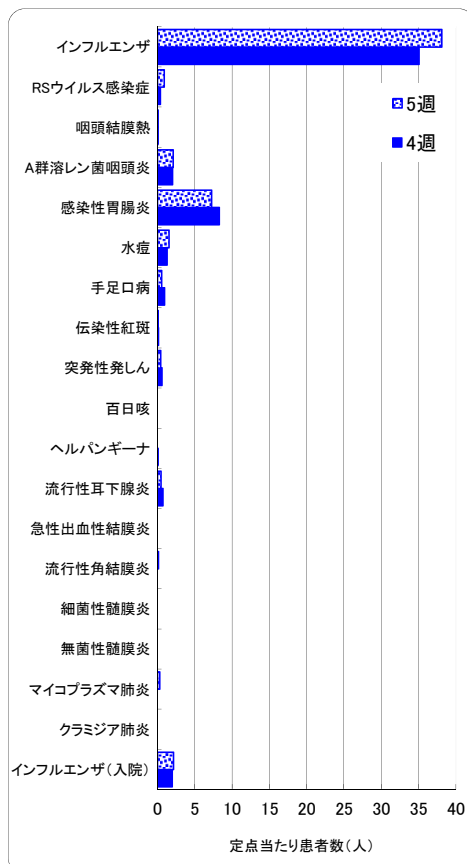
(警報開始基準値 8.00、警報終息基準値 4.00)

(警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)

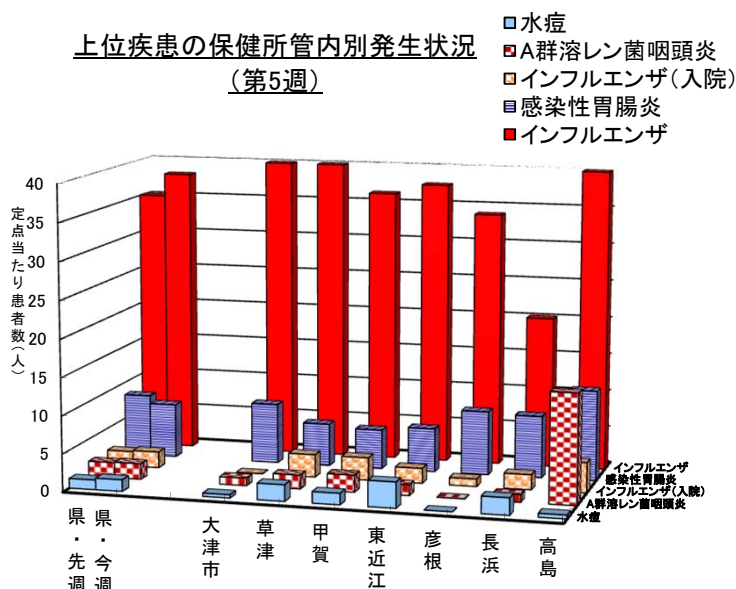
全ての保健所管内

高島保健所管内

高島保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第5週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③インフルエンザ(入院)、④A群溶レン菌咽頭炎、⑤水痘の順に多くなっています。

インフルエンザ-----大津市、草津および高島で、先週より大幅に増加しています。また東近江、彦根および長浜では先週より微減となっていますが、県内全域にインフルエンザ警報は発令中です。
 感染性胃腸炎-----ほとんどの保健所管内で先週より減少しています。
 A群溶レン菌咽頭炎-----高島で先週よりさらに多くなっています。
 水痘-----東近江および長浜で先週より大幅に増加しています。

1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (5週)	全 国 ^(※3) (4週)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	25	1,518	337	30,810	251	26,704
三類感染症	コレラ	0	1	0	12	0	10
	細菌性赤痢	0	12	5	296	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	0	51	71	3,900	66	4,131
	パラチフス	0	1	0	22	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	12	0	54	0	66
	A型肝炎	0	7	0	176	3	346
	オウム病	0	0	0	13	1	11
	つつが虫病	1	46	1	438	2	406
	デング熱	0	12	1	104	2	245
	マラリア	0	2	0	76	0	76
	レジオネラ症	0	45	12	804	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	3	57	2	803	7	845
	ウイルス性肝炎	0	10	1	241	3	222
	急性脳炎	0	38	1	249	0	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	9	2	130	2	171
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	22	2	192	3	127
	後天性免疫不全症候群	0	90	6	1,478	1	1,549
	ジアルジア症	0	1	1	67	1	80
	梅毒	0	44	6	817	9	621
	破傷風	0	8	1	111	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	4	0	68	2	121
	風しん	2	19	2	369	5	89
	麻しん	1	25	1	434	1	455
	動物の感染症	0	1	9	37	0	59

注：5週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

※1：感染症発生動向調査における暫定報告数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年12月現在）。

※2：感染症発生動向調査事業年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在）。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。
また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）

(1) 疾病別・週別発生状況（平成23年第52週～平成24年第5週、H23.12.26～H24.2.5）

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数（↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少）										
			52週	1週	2週	3週	4週	5週	週				
			12/26～	1/2～	1/9～	1/16～	1/23～	1/30～	1	2	3	4	5
インフルエンザ	53	インフルエンザ	6.72	8.85	11.75	27.40	35.06	38.09	↑	↑	↑	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	1.59	1.25	0.63	0.72	0.41	0.88	↓	↓	↑	↓	↑
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.31	0.13	0.06	0.03	0.06	0.03	↓	↓	↓	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.56	1.06	1.31	2.03	2.09	↓	↑	↑	↑	↑
		感染性胃腸炎	7.94	7.78	10.00	11.53	8.28	7.22	↓	↑	↑	↓	↓
		水痘	2.50	2.78	1.94	1.69	1.28	1.53	↑	↓	↓	↓	↑
		手足口病	1.78	1.22	0.75	0.72	0.97	0.56	↓	↓	↓	↑	↓
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.06	0.09	0.06	0.13	0.13	0.06	↑	↓	↑	→	↓
		突発性発しん	0.47	0.63	0.66	0.66	0.59	0.41	↑	↑	→	↓	↓
		百日咳	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0.06	0.06	0	↓	→	↑	→	↓
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.44	0.47	1.16	0.25	0.75	0.47	↑	↑	↓	↑	↓
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.13	0.63	0.13	0	0	0.13	↑	↓	↓	→	↑
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0.14	0	0.29	→	↑	→	↓	↑
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ（入院）*	0.43	0.86	1.14	1.29	2.00	2.14	↑	↑	↑	↑	↑

※：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり患者数）を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第5週、1/30~2/5)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)									
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島										
インフルエンザ	38.09	48.91	40.10	36.29	37.63	33.86	20.14	49.00										
RSウイルス感染症	0.88	0.71	1.83	0.25	0.80	0.50	0	2.50										
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.09	1.00	1.83	2.25	1.40	0	1.00	14.50										
感染性胃腸炎	7.22	8.00	5.67	5.25	5.80	8.50	8.25	12.00										
水痘	1.53	0.43	2.17	1.50	3.40	0	2.25	0.50										
手足口病	0.56	0	2.00	0.50	0	0	0	2.00										
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0										
突発性発しん	0.41	0.43	1.00	0.50	0	0	0.50	0										
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0										
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0										
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.14	0.50	0	2.20	0	0	0										
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0										
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	1.00										
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0										
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0										
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	0	0	1.00	0										
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0										
インフルエンザ(入院)	2.14	0	3.00	3.00	2.00	1.00	2.00	4.00										

赤・太字

青緑・太字

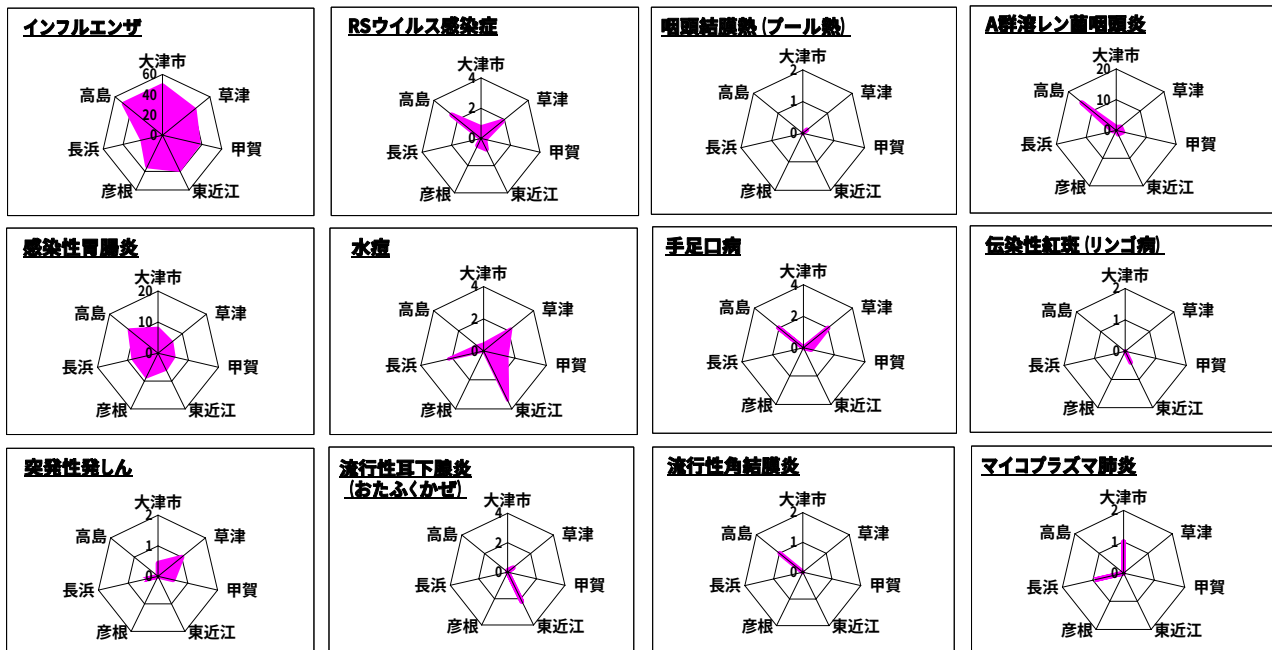
は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は注意報発生基準値を超えています。

0510152025303540

定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

トップページに
戻る

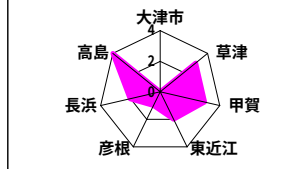
<インフルエンザ>

年次別発生状況では、過去の同時期(2001年以降)と比較すると、最も多く発生しています。また、年齢別の発生割合では、先週とほぼ横ばいで、60歳以上の割合が例年より多くなっています。

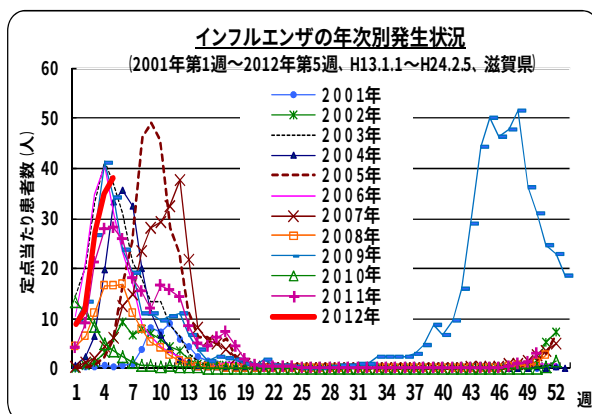
<流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)>

東近江保健所管内で先週より大幅に減少し、注意報発生基準値(3.00)未達となっています。

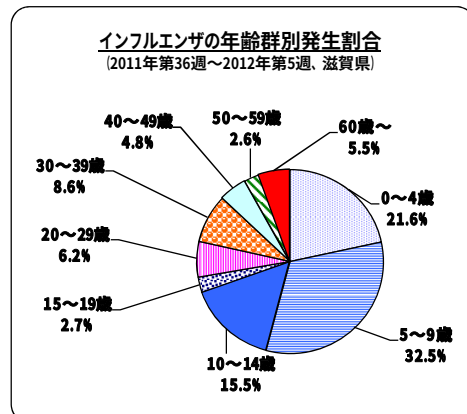
インフルエンザ(入院)



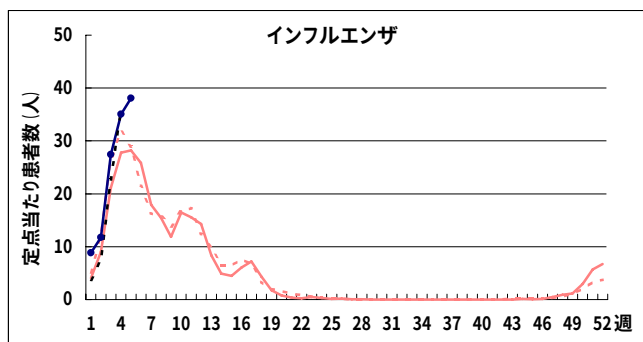
インフルエンザの年次別発生状況



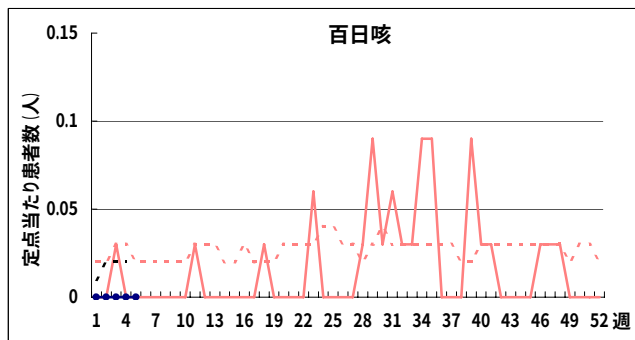
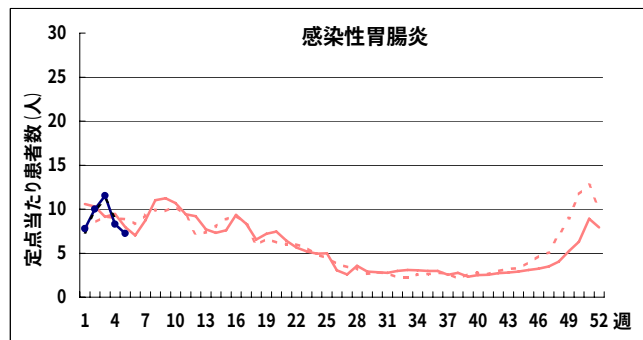
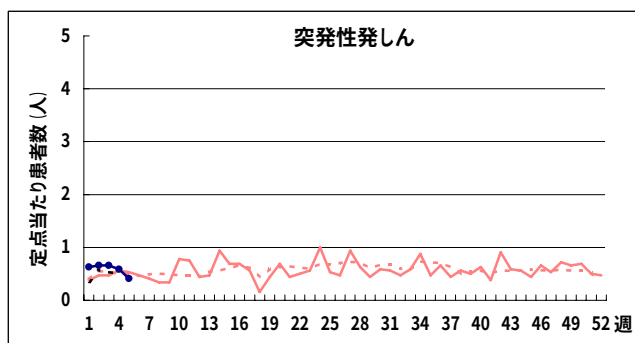
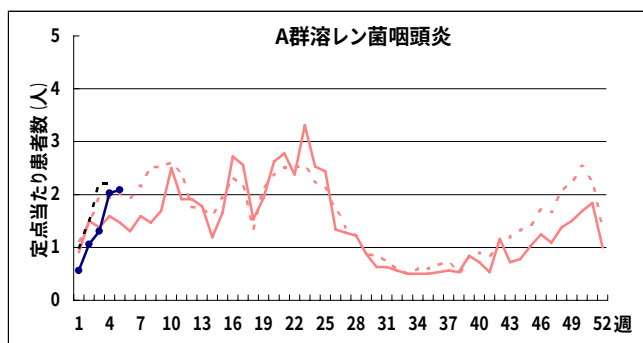
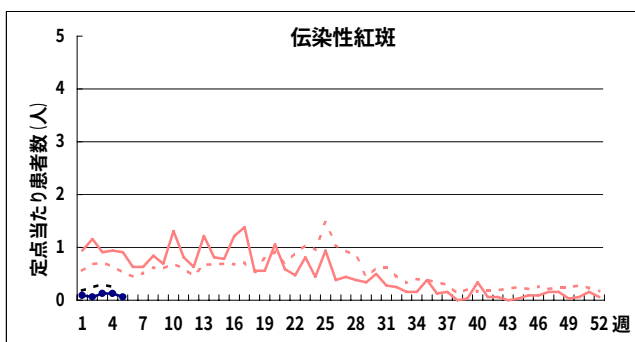
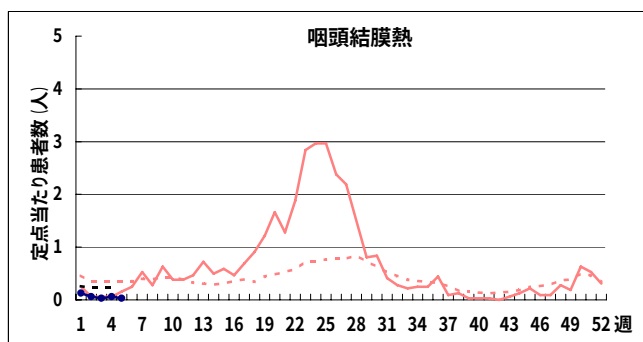
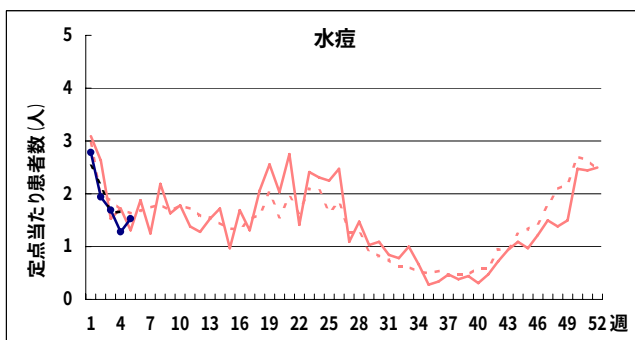
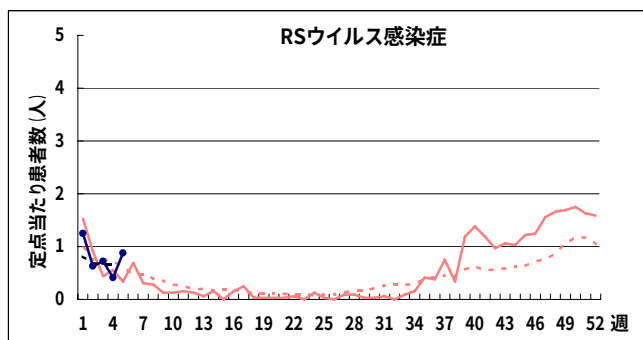
インフルエンザの年齢群別発生割合(2011/2012シーズン)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第 5 週、H24.1.2～H24.2.5)



H23 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H24 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第5週、H24.1.2～H24.2.5)

H23 〔 滋賀 全国 〕 H24 〔 滋賀 全国 〕

